

**フラッグシップ輸出産地
(認定産地)**

令和6年8月21日

農林水産省

九州農政局鹿児島県拠点

「フラッグシップ輸出産地」とは

- ・「フラッグシップ輸出産地」は、農畜産物を輸出している産地のうち、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地を農林水産大臣が認定する制度です。

- ・令和6年6月26日に開催された「第4回フラッグシップ輸出産地に関する有識者会議」において、応募のあった中から全国42産地を選定し、このうち鹿児島県では5産地が選定されました。

認定産地（鹿児島県内）

- ① カミチク食肉輸出コンソーシアム . . . 1
(牛肉：鹿児島県)
- ② JA食肉かごしま輸出コンソーシアム . . . 2
(牛肉：鹿児島県)
- ③ スターゼンミートコンソーシアム . . . 3
(牛肉：鹿児島県)
- ④ Japan potato有限会社 . . . 4
(かんしょ：鹿児島県)
- ⑤ 有限会社南橋商事 . . . 5
(かんしょ：鹿児島県)

フラッグシップ輸出産地の概要

カミチク食肉輸出コンソーシアム（代表者 上村 昌平）

輸出
品目

畜産物
(牛肉)

主な輸出先国	台湾、香港等（2023年）	輸出実績	360t（2023年）
対象となる地域	鹿児島県鹿児島市・南さつま市・日置市・霧島市・鹿屋市・いちき串木野市・枕崎市・薩摩川内市・薩摩郡さつま町・阿久根市・出水市・指宿市		

輸出産地の概況

- ・鹿児島県内の生産者（26社）及び(株)カミチクファームにて生産された和牛を中心とした牛を鹿児島食肉センターにてと畜し、(株)カミチクが加工・輸出。
- ・令和5年にコンソーシアムを設立。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・グルムキ規格、柵取りに近い規格での納品を実施。また、現地で使いやすいカット規格を提案・提供。
- ・弊社のカット技術者を派遣し、適切なカット方法、肉の取扱い方をレクチャーし、ロース以外の活用方法も提案。

アピールポイント

- ★当コンソーシアムでは、外部の食肉センターとも連携し、米国、EU、東南アジア等への輸出を継続拡大している。
- ★畜産の6次産業化を推進するカミチクグループだからこそできるFarm to Tableのストーリーを売りに、カット技術を備えた担当者が現地業者等と連携した販促活動を実施。



展示会に参加
(台湾)



人気ユーチューバーと
カット共演
(香港)



産地直送をPR



ベトナムでは直営で
焼肉店を運営

フラッグシップ輸出産地の概要

J A 食肉かごしま輸出コンソーシアム（代表取締役社長 北村 裕司）

輸出
品目

畜産物
(牛肉)

主な輸出先国	台湾、米国等（2023年）	輸出実績	450t（2023年）
対象となる地域	鹿児島県南九州市・指宿市・南さつま市・日置市・枕崎市・いちき串木野市・鹿児島市・薩摩川内市・出水市・阿久根市・出水郡長島町・薩摩郡さつま町・伊佐市・始良市・霧島市・始良郡湧水町・曾於市・鹿屋市・垂水市・肝属郡錦江町・肝付町・東串良町・南大隅町・志布志市・曾於郡大崎町・西之表市・熊毛郡屋久島町・大島郡徳之島町		

輸出産地の概況

- ・ J A 鹿児島県経済連の牛登録農家から出荷された肉牛を輸出候補牛として取り扱う。（220登録農家が出荷実績あり）
- ・ J A 鹿児島県経済連・ J A 全農ミートフーズ(株)・ J A 全農インターナショナル(株)・ J A 食肉かごしまで構成。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・ 米国への牛肉輸出認定要綱におけるSTEC検査実施や台湾における生後30か月齢未満牛選定などの規制に対応。
- ・ 輸出先からの賞味期限延長要請に応じた日数を設定している。

アピールポイント

- ★全国和牛能力共進会成績における「鹿児島黒牛日本一」を前面に打ち出しPR展開中。

南薩工場



牛カット風景

フラッグシップ輸出産地の概要

スターゼンミートコンソーシアム（代表者 黒木 重孝）

輸出
品目

畜産物
（牛肉）

主な輸出先国	台湾、香港等（2023年）	輸出実績	780t（2023年）
対象となる地域	鹿児島県指宿市・鹿児島市・姶良市・南九州市・南さつま市、宮崎県小林市・えびの市		

輸出産地の概況

- ・メンバーである水迫グループ（約40生産者）全体で、動物福祉に対応する取組を促進している。
- ・牛肉への残留物質リスクを軽減するために、厳格な休薬期間を順守し、安心安全な牛肉の生産に努めている。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・細菌検査等の日持ち検査を経て、真空包装し2℃以下で流通することで賞味期限を85日まで延長。動物福祉の対応として鼻環牽引を減らし、頭絡の着用率を75%まで向上させた。
- ・輸出先の要望に合わせた、カット規格の開発や、ニーズに対応したスキンパック製品の開発製造を実施。

アピールポイント

- ・指定の生産者・産地から輸出先の規制に沿って生産された牛を搬入。
- ・加工工場はSQF認証を取得、食肉加工の全行程で加工・品質を徹底管理。
- ・日本産牛肉を51の国と地域に輸出することが可能であり、部分肉製造マイスターの資格を有する技術者らが監督指導の下、海外マーケットに合わせた商品づくりを徹底。
- ・和牛の輸出専用ブランド【AKUNE GOLD】を展開。



動物福祉視察
（英国、デンマーク）



展示会への出展
（鹿児島県と協働）
（米国）



得意先を招聘し、農場訪問
（米国、欧州）



海外得意先を招聘し、工場見学・カット実演。

お問合せ先 （TEL）0996-72-0885 担当：花田

フラッグシップ輸出産地の概要

Japan potato 有限会社（代表取締役 田村 悠太）

輸出
品目

青果物
(かんしょ)

主な輸出先国	シンガポール、香港等（2023年）	輸出実績	760百万円（2023年）
対象となる地域	鹿児島県鹿屋市、千葉県成田市、茨城県鉾田市		

輸出産地の概況

- ・2018年から輸出事業を開始。輸出量の拡大に伴い、鹿児島県だけでなく茨城県、千葉県の生産者と契約し商品を確認している。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・需要に対応した良質な商品の安定的な確保のため、鹿児島県外からも商品を確認している。
- ・国際認証の取得として、グローバルGAP認証とUSDA（米国）の有機認証を取得済。栽培技術・ノウハウを協力生産者に共有・展開している。
- ・海外向けの商品については、厳しい商品選別と当社独自の基準でキュアリング処理を行うことで品質を維持している。

アピールポイント

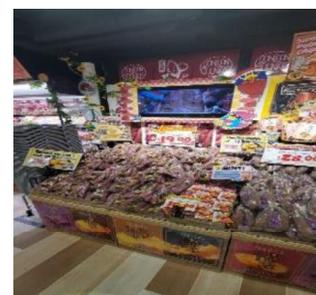
- ★独自のキュアリング工程により歩留まり率の高い商品の出荷
- ★PPIH様などとの連携の下、東南アジアを中心とした豊富な輸出経験あり



各国向け生芋出荷



各国向け加工品出荷



台湾ドンキ販売風景



香港ドンキ
タイアップ宣伝車

フラッグシップ輸出産地の概要

有限会社南橋商事（代表取締役 矢羽田 竜作）

輸出
品目

青果物
（かんしょ）

主な輸出先国	香港、カナダ等（2023年）	輸出実績	70百万円（2023年）
対象となる地域	鹿児島県鹿屋市・肝属郡錦江町・曾於市・志布志市、宮崎県串間市		

輸出産地の概況

- ・平成28年から海外市場に目を向け輸出に取り組んできた。増加する需要に対応するために自社農場だけではなく契約農家の開拓を進めており、鹿児島県だけでなく宮崎県での開拓にも成功している。



タイでの積み下ろしの様子

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・香港向け輸出においては、腐敗率低減のため出荷時に芋のしっぽを切らずに出荷し、国内では需要が無い簡単に調理できるサイズ2S.Sを多く出荷。
- ・段ボール潰れや蒸れを防ぐため、流通において工夫している。

アピールポイント

- ★独自のキュアリング技術により歩留まり率の高い商品を提供
- ★自社に貯蔵庫を持ち通年出荷が可能



焼き芋になったものが給食で配膳された様子

(参考) 九州管内の他の産地

- ⑥ 株式会社ローソンファーム熊本 . . . 6
(かんきつ：熊本県)
- ⑦ 株式会社くしまアオイファーム . . . 7
(かんしょ：宮崎県)
- ⑧ 株式会社イチゴラス . . . 8
(いちご：熊本県)
- ⑨ サプライジングファーマーズ株式会社 . . . 9
(いちご：熊本県)
- ⑩ 島原雲仙農業協同組合 . . . 10
(いちご：長崎県)
- ⑪ みかん輸出コンソーシアム . . . 11
(かんきつ：宮崎県)
- ⑫ 株式会社大石茶園 . . . 12
(茶：福岡県)
- ⑬ オーガニックティーミヤザキ . . . 13
(茶：宮崎県)

【参考】

第1回フラッグシップ輸出産地認定産地一覧

(全国版)

フラッグシップ輸出産地の概要

株式会社ローソンファーム熊本（代表取締役 坂本 裕太郎）

輸出
品目

青果物
(かんきつ)

主な輸出先国	台湾、香港（2023年）	輸出実績	30百万円（2023年）
対象となる地域	熊本県熊本市・八代市・人吉市・荒尾市・水俣市・玉名市・天草市・山鹿市・菊池市・宇土市・上天草市・宇城市・阿蘇市・合志市		

輸出産地の概況

- ・主としてかんきつの生産・国内販売を行っている株式会社味咲グループに属しており、当社が中心となって2019年から輸出を開始。現在は同グループ所属の若手生産者とともに台湾等に向けた生産・輸出を行っている。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・台湾向け防除暦を開発し、それに基づく生産を実施。
- ・香港向け輸出においては、現地需要に対応した商品（外観が優れた商品の出荷等）の生産、出荷に取り組んでいる。

アピールポイント

- ★株式会社味咲に所属する多くの若手生産者と勉強会の開催や情報交換を頻繁に行っている。



輸出栽培圃場の様子



産地栽培勉強会の様子



産地出荷の様子



台湾向け選果選別の様子

フラッグシップ輸出産地の概要

株式会社くしまアオイファーム（代表取締役 池田 誠）

輸出
品目

青果物
（かんしょ）

主な輸出先国	香港、シンガポール等（2023年）	輸出実績	260百万円（2023年）
対象となる地域	宮崎県串間市、北海道帯広市、茨城県銚田市、熊本県阿蘇郡西原村、鹿児島県指宿市		

輸出産地の概況

- ・2013年より取組を開始し、自社圃場での生産、各地域の農家との連携体制を構築。契約農家や連携先企業からサツマイモ輸出に適したサイズや品種を生産、選別して海外のニーズに応えている。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・多品種展開、契約栽培による安定出荷。
- ・輸出拠点を増やすことによる物流コスト削減、直接貿易の拡大
- ・サツマイモのキュアリング処理やそれに伴う設備と運用体制作りを行っている。

アピールポイント

- ★サツマイモ用の鮮度保持袋の使用や、キュアリング処理により着荷時・輸送中の腐敗リスクを抑えている。
- ★外国人高度人材を採用し、海外営業専任にてフォローアップ、新規開拓を行っている。
- ★商社や取り扱い店舗など全てのサプライチェーンで一丸となって品質管理、向上に取り組んでいる。



港でのバンニングと
現着コンテナ



香港で開催された
FoodExpo参加



ドバイ商談会に参加

イギリス取り扱い店舗にて
焼き芋販促

フラッグシップ輸出産地の概要

株式会社イチゴラス（代表取締役 森川 竜典）

輸出
品目

青果物
(いちご)

主な輸出先国	米国、台湾等（2023年）	輸出実績	30百万円（2023年）
対象となる地域	熊本県玉名市、三重県伊賀市、兵庫県淡路市		

輸出産地の概況

- ・本県の北部に位置する玉名市でいちごの生産に取り組んでおり、2016年より輸出を開始。
- ・兵庫県淡路市、三重県伊賀市の生産者の協力を受け、輸出のためのロット数を確保。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・リードタイムの時短、配送時のダメージを抑えることが出来る様に、協力農家が直接指定の倉庫に納品するなど物流体制を簡素化。
- ・顧客のニーズに応えるため品種数を増やし、残留農薬規制に合わせた栽培方法に取り組み、残留農薬検査を実施。

アピールポイント

- ★海外販路拡大による農業収入の増加により海外輸出をさらに拡大し、地域における農業の雇用創出に貢献したいと考えている。
- ★地域の生産者にとっての身近な事例となり、産地ぐるみでさらなる海外販路を開拓する機運を盛り上げたい。



NYの老舗チーズケーキに使用



ドバイでの販売の様子



日本をイメージした
自社パッケージ



現地バイヤーとの
着荷状態確認

フラッグシップ輸出産地の概要

サプライジングファーマーズ株式会社 (代表取締役 木山 勇志)

輸出
品目

青果物
(いちご)

主な輸出先国	台湾、香港等 (2023年)	輸出実績	200百万円 (2023年)
対象となる地域	熊本県玉名市・山鹿市・熊本市・玉名郡和泉町		

輸出産地の概況

- ・2019年11月から輸出をスタート。最初は生産者9名で20万パックの実績だったが、2023年には生産者40名に増え輸出実績は50万パックに増加している。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・台湾へのいちご輸出拡大のために、台湾向け専門の栽培プログラムを設定し、台湾基準値をクリアするいちごの栽培方法確立に向けた取組を行っている。



台湾向け輸出に向けた
ほ場巡回



輸送時のパレットの工夫
(熱が伝わりにくい素材の使用)

アピールポイント

- ★高い品質のいちごを提供するため、産地から販売店までコールドチェーンを組んでいる。
- ★現地でのロスが多い場合などは輸出する際にデータロガーを設置し、温度や湿度の異常がないか確認し、高温になっている時間があるなど問題がある場合は原因を追求し対策を行い、品質の維持に努めている。



ロス率低減に向けた
収穫目合わせ会



シーズン終了後に生産者
との集会を開催し、実績
や反省点、来期に向けた
計画など共有

フラッグシップ輸出産地の概要

島原雲仙農業協同組合（代表理事組合長 苑田 康治）

輸出
品目

青果物
(いちご)

主な輸出先国	香港、シンガポール等（2023年）	輸出実績	160百万円（2023年）
対象となる地域	長崎県南島原市・島原市・雲仙市		

輸出産地の概況

- ・当組合がある島原半島は、全国屈指の産出額を誇る長崎県の中でも面積、出荷量とも約70%を占める一大産地である
- ・海外向けに新たな販売チャネルを獲得することにより、単価の回復・維持を図るべく、平成29年度より取組を開始。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・タイ向けに、生産園地登録及び選果こん包施設の登録を令和2年3月、食品衛生上の選果こん包施設認証・証明書を令和2年10月に取得。
- ・海外のニーズに対応するため、「さちのか」からより収量が取れる「ゆめのか」、省力化と大玉品種の「恋みのり」の2品種へ転換。

アピールポイント

★現地店舗でのいちごの試食やPR動画放映による販売促進活動のほか、旧正月向けデザインのギフト箱導入、産地マップの作成・配布など、長崎県産いちごの認知度・評価の向上および更なる顧客取込みに努めている。



輸出先国の言語に対応したPR動画の製作



バイヤー・市場流通関係者とのミーティング



タイ向け輸出に係る施設認証

フラッグシップ輸出産地の概要

みかん輸出コンソーシアム（代表取締役 田中 伸佳）

輸出
品目

青果物
（かんきつ）

主な輸出先国	台湾、シンガポール他（2023年）	輸出実績	30百万円（2023年）
対象となる地域	宮崎県日南市・宮崎市、和歌山県有田郡有田川町、福岡県八女市、佐賀県唐津市、長崎県大村市、熊本県熊本市		

輸出産地の概況

- ・みかん輸出コンソーシアムは宮崎県に位置し、温州みかんの生産に取り組んでおり、残留農薬規制の厳しい台湾をメインに輸出を行っている。熊本、佐賀、福岡、長崎、和歌山県と連携しており、現在26名の生産者が輸出に取り組んでいる。



台湾で販売される様子



シンガポールで販売される様子

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・台湾は残留農薬の規制があるため、輸出が少なく価格的にも有利な販売が可能。検査をクリアするため栽培歴を作り直したり、残留農薬検査を実施している。リーズナブルな価格で取引することで、デイリーで家庭消費のニーズに込えている。

アピールポイント

- ★台湾には直接貿易にて輸出を実施。
- ★2023年シーズの輸出のロス率を1%に抑えることができています。



16パレット分港へ運ばれる様子

フラッグシップ輸出産地の概要

株式会社大石茶園（代表取締役 大石 剛司）

輸出
品目

茶

主な輸出先国	台湾、タイ等（2023年）	輸出実績	270百万円（2023年）
対象となる地域	福岡県八女市、静岡県静岡市、三重県四日市市、京都府相楽郡和束町、熊本県熊本市、宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町、鹿児島県南九州市		

輸出産地の概況

- ・各地域のJAまたは農家と連携し、輸出先の農薬基準に合うものや有機原料またはシングルオリジン茶を仕入れている。
- ・大口の輸出は事前に海外のバイヤーと契約を交わしている。



海外顧客に
自社茶畑案内

海外顧客に
自社工場案内

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・連携している生産者は当該輸出国の農薬基準に満たす栽培を実施。
- ・FSSC22000認証とJAS有機認証を取得し、安心安全な商品提供を保証し、健康志向のニーズに合う製品を提供。



大石茶園のお茶を使用した海外のコラボ商品

アピールポイント

- ・農林水産大臣賞を受賞した日本一の茶師や日本茶鑑定士が監修したお茶の開発及び販売を行っている。
- ・世界緑茶コンテスト、国際銘茶品評会、日本茶アワードでの受賞による知名度向上での差別化を図っている。

フラッグシップ輸出産地の概要

輸出
品目

茶

オーガニックティーミヤザキ (代表 小浦 武士)

主な輸出先国	アメリカ、ドイツ等 (2023年)	輸出実績	160百万円 (2023年)
対象となる地域	宮崎県宮崎市・小林市・西諸県郡高原町・都城市・児湯郡高鍋町・川南町・西都市		

輸出産地の概況

- ・オーガニックティーミヤザキ(OTM)は、宮崎県宮崎市高岡町の小浦製茶を代表とする輸出用荒茶生産組織である。
- ・2012年から国内茶商経由でドイツ等への間接輸出に取り組んでおり、2019年からはロシアで日本食品等を扱う通販事業者との直接取引を開始している。



輸出茶の販路拡大へ向けた会議

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・輸出先国のニーズに応えるため有機JAS認証を取得し、有機生産技術やマーケットニーズ等の情報共有を図るための研修会を年2、3回開催。
- ・また随時、栽培や加工にかかる技術共有も行っており、実需者ニーズにきめ細かに対応できる荒茶生産体制を構築。

アピールポイント

- ★OTMでは、マーケットニーズ等の情報共有をすることで流通の透明化をおこない、また有機生産技術の研修会を開催するなどして有機転換を支援。



荒茶の海外ニーズ調査
(研修会)

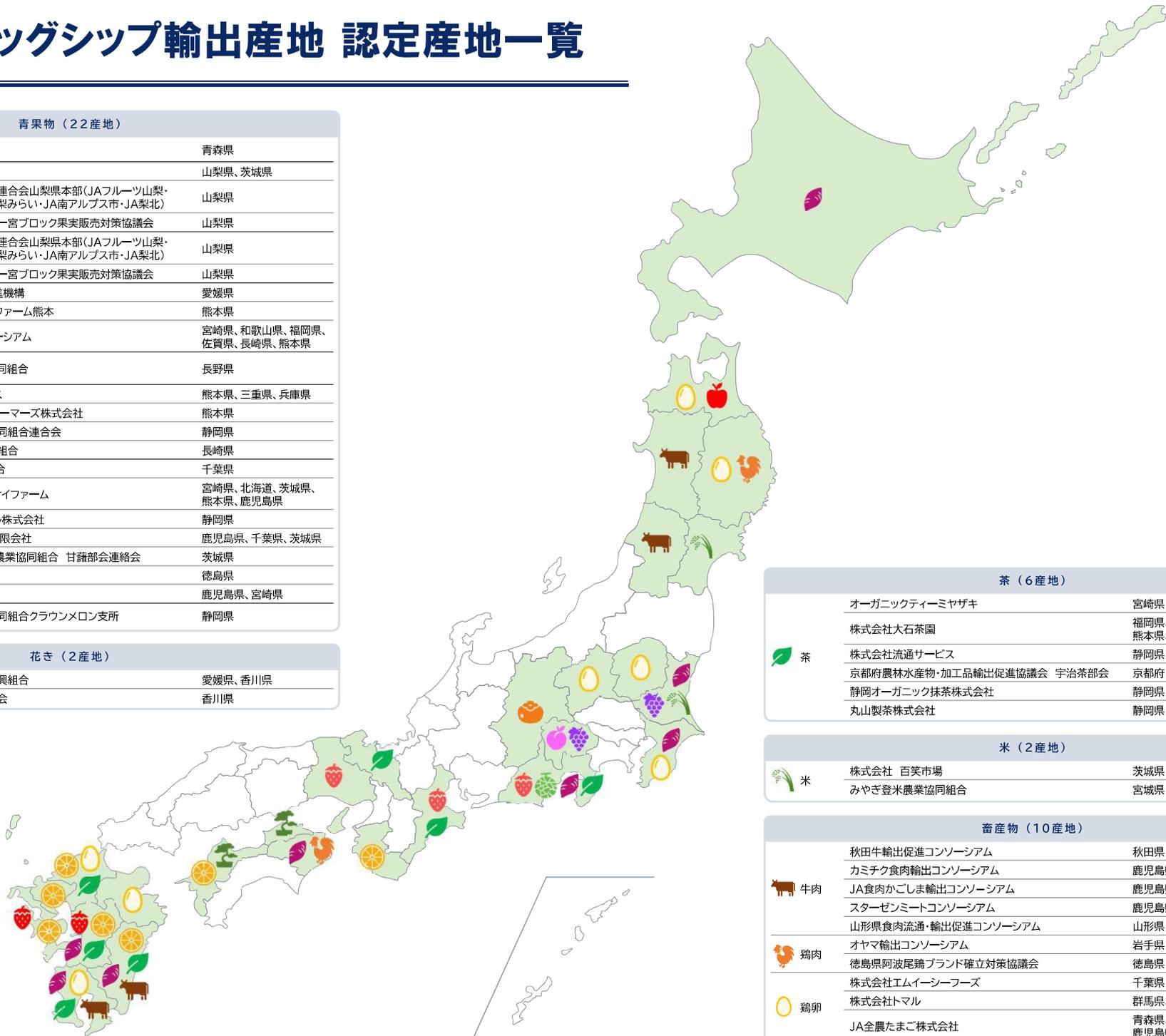
第1回 フラッグシップ輸出産地 認定産地一覧

青果物（22産地）

りんご	株式会社日本農業	青森県
	アグベル株式会社	山梨県、茨城県
ぶどう	全国農業協同組合連合会山梨県本部(JAフルーツ山梨・JAふえふき・JA山梨みらい・JA南アルプス市・JA梨北)	山梨県
	笛吹農業協同組合一宮ブロック果実販売対策協議会	山梨県
もも	全国農業協同組合連合会山梨県本部(JAフルーツ山梨・JAふえふき・JA山梨みらい・JA南アルプス市・JA梨北)	山梨県
	笛吹農業協同組合一宮ブロック果実販売対策協議会	山梨県
かんきつ	えひめ愛フード推進機構	愛媛県
	株式会社ローソンファーム熊本	熊本県
かき加工品(干し柿)	みなみ信州農業協同組合	長野県
	株式会社イチゴラス	熊本県、三重県、兵庫県
いちご	サブライジングファーマーズ株式会社	熊本県
	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡県
	島原雲仙農業協同組合	長崎県
	かとり農業協同組合	千葉県
かんしょ	株式会社くしまアオイファーム	宮崎県、北海道、茨城県、熊本県、鹿児島県
	ジャパンベジタブル株式会社	静岡県
	Japan potato有限公司	鹿児島県、千葉県、茨城県
	なめがたしおさい農業協同組合 甘藷部会連絡会	茨城県
	農家ソムリエーズ	徳島県
	有限会社南橋商事	鹿児島県、宮崎県
メロン	静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所	静岡県

花き（2産地）

盆栽	赤石五葉松輸出振興組合	愛媛県、香川県
	高松盆栽輸出振興会	香川県



茶（6産地）

茶	オーガニックティーミヤザキ	宮崎県
	株式会社大石茶園	福岡県、静岡県、三重県、京都府、熊本県、宮崎県、鹿児島県
	株式会社流通サービス	静岡県
	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 宇治茶部会	京都府
	静岡オーガニック抹茶株式会社	静岡県
	丸山製茶株式会社	静岡県

米（2産地）

米	株式会社 百笑市場	茨城県
	みやぎ登米農業協同組合	宮城県

畜産物（10産地）

牛肉	秋田牛輸出促進コンソーシアム	秋田県
	カミチク食肉輸出コンソーシアム	鹿児島県
鶏肉	JA食肉かごしま輸出コンソーシアム	鹿児島県
	スターゼンミートコンソーシアム	鹿児島県、宮崎県
鶏卵	山形県食肉流通・輸出促進コンソーシアム	山形県
	オヤマ輸出コンソーシアム	岩手県
鶏卵	徳島県阿波尾鶏ブランド確立対策協議会	徳島県
	株式会社エムイーシーファーズ	千葉県
	株式会社トマル	群馬県、栃木県
	JA全農たまご株式会社	青森県、岩手県、大分県、福岡県、鹿児島県